

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
5	小野由美子（21）	<p>1. スケートボードを富士市で安心して楽しめる場所の確保と若者の新しいチャレンジスポーツを応援する気概について</p> <p>TOKYO2020オリンピックにおいて、スケートボードは広く世界中にスポーツとして認知され、ストリート男子の堀米雄斗選手が金メダル、パーク女子の四十住さくら選手が金メダル、開心那選手が銀メダル、ストリート女子の西矢椛選手が金メダルと日本勢が大活躍しました。静岡県出身の青木勇貴斗選手も活躍しました。</p> <p>スケートボードの人気は若者の間でかつてないほど高まっております。今では車の往来が少ないストリート、つまり道路に当たる場所で熱心に練習する若者をよく目にするようになりました。なぜ道路なのか。理由は、富士市の公園ではスケートボードの使用が禁止されているからです。</p> <p>平成30年6月定例会において、私は「スケートボードを富士市でも安全に使用できるようにするには」についての一般質問をしました。市長からは、「スケートパークというような形のもので、例えばこういったものが可能であるのかどうかも含めまして、それについては調査研究をしていくという考えです」という御答弁をいただきました。それから3年半が過ぎました。</p> <p>そこで以下質問します。</p> <p>(1) 市長のおっしゃるスケートボードパークに関する調査研究がどこまで進んだのか。</p> <p>(2) 富士市の若者のためにスケートボードを安心して使用できる場所の確保をしていくお考えはあるのかどうか。</p> <p>(3) これから先、若者や子供たちが新しいスポーツにチャレンジしていこうとするときに、富士市は積極的に応援していく気概はあるのか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
6	藤田 哲哉（13）	<p>1. 防災意識向上を目指し「防災かぞく手帳」の利用について平成30年9月定例会にて、水防災意識社会構築について一般質問をさせていただき、その中でマイタイムラインの提言をさせていただきました。</p> <p>現在、富士市の逃げどきマップに採用されており、防災の意識向上に向けた取組の一つとして、大変評価できる点です。</p> <p>ところが、直近の2年間では新型コロナウイルスの影響で、富士市のほとんどの防災事業や各町内会の自主防災会の取組も中止せざるを得ない状況でした。</p> <p>そのため、今後は地区単位や町内会単位だけでなく、家族単位でも防災意識を向上させる取組が必要であると考えます。</p> <p>そこで、以下質問いたします。</p> <p>(1) 本年11月に安全大会にて小学校の避難所運営について初めての訓練を行いました。事前の打合せで、誰もが指定避難場所に集まるわけではない旨の説明を行った際に、一部の町内会長経験者から驚きの声が聞かれました。防災マップに記載されております、地震災害の避難と自主防災活動についての理解が進んでいない、もしくは、この2年間の自粛により意識が希薄になったことに改めて気がつきました。そこで、「防災かぞく手帳」を策定し、この手帳を利用して今後の防災意識向上を目指すことが大切であると考えますが、いかがお考えか伺います。</p> <p>2. シティプロモーション型保全と指定管理の在り方について</p> <p>新型コロナウイルスの感染が縮小し落ち着きつつある中、市内のスポーツイベント等も慎重に開催が始まりました。</p> <p>以前より、富士総合運動公園全体、また、各施設の管理運営や保全の考え方について伺っておりますが、利用の再開が拡大しつつあることから、以下質問いたします。</p> <p>(1) 東京オリンピックの事前合宿に向けて、陸上競技場については必要箇所の整備や修繕が進むと考えておりましたが、合宿が中止になったことが大きな要因となってしまったのか、選手や利用者にとっても怪我等の原因となってしまう箇所までもが修繕等が遅れている状況となっておりますが、いかがお考えか伺います。</p> <p>(2) 陸上競技場の夜間照明については、平成29年の一般質問に対して、「東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運が高まる中、事前合宿の誘致や競技力向上にも一定の効果が期待できることから、夜間利用を推進してまいりたいと考えております」と回答されましたが、一方で、簡易な照明設置については想定しておらず、「可搬式の照明器具の配備や日時を限定した夜間利用などを試行的に実施し、ハード、ソフト両面における利用者のニーズを把握した上で、必要な規模の照明設備設置と夜間の利用時間延長に向</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
6	藤田 哲哉（13）	<p>けて取り組んでまいります」とも回答されました。利用者ニーズについては、その後どのように把握をされたのか伺います。</p> <p>(3) 第三次富士市スポーツ推進計画では、富士総合運動公園全体が、生涯スポーツを推進するために、生きがい・楽しみにつながる環境づくりが必要であり、また、社会資本総合整備計画では、安全・安心で快適な都市公園づくりが必要であると示されています。しかしながら、野球場から陸上競技場へは、街路灯が一つもなく、真っ暗な状況です。この数年、ウォーキングなどの健康運動機運が高まる中、防犯の観点からも街路灯等の整備が必要と思われませんが、いかがお考えでしょうか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	高橋 正典（9）	<p>1. 本市の通学路の再点検及び整備について</p> <p>本年6月、千葉県八街市において、下校時の児童の列にトラックが突っ込み2人の児童がその尊い命を絶たれるという痛ましい事故が発生した。</p> <p>これは、勤務先の会社に帰社しようとしていたトラックのドライバーが飲酒していたにもかかわらずトラックを運転し、ハンドル操作を誤り児童の列に突っ込んでいったために起きた事故である。常習的に飲酒していたにもかかわらず運転をしていたということで、事故というには、御遺族にしてみれば、「これは、犯罪である。」と思っておられると推察される。</p> <p>事故原因については、概略は前述のとおりであるが、この事故を教訓に、改めて考えていかなければならないところである。たとえ、無謀なドライバーがいたとしても、私たちは、子供たちの生命は守らなければならないということである。</p> <p>今回の事故現場において、報道機関は、通学路の確保ができていなかったということを再三報道していた。</p> <p>私は、この時点で、道路幅員の不足から歩車道境界ブロックを設けるとか、ガードレールを設置して、歩道を確保するのが難しかったのかもしれないと解釈した。</p> <p>しかし、時間がたつにつれて、そういった設置基準を理由に防護措置を講じなかったことで、子供たちの命が絶たれたとなると、私たち大人の不作為になるのではないかと思うに至った。</p> <p>通学路を日々点検し、整備していく中で、歩車道境界ブロックやガードレールなど、構造物の設置ができないということであれば、グリーンベルトを設置するなど、ドライバーへの注意喚起ができなかったかと思うのであります。そこで、この痛ましい事故を教訓として、以下質問いたします。</p> <p>(1) 今回の事故を受けて、市内の各小学校区では、通学路の再点検を実施したか。</p> <p>(2) その結果をどのように取りまとめて、対処したか。</p> <p>(3) 教育委員会にとどまらず、建設部も交えて、点検内容について情報を共有し、子供たちの生命を守るシステムを構築すべきと考えるがいかか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
8	下田 良秀（5）	<p>1. 富士市デジタル変革宣言をした中でのICT産業の育成・誘致とプログラミング教育を含む情報教育について</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染症が小康状態となっているものの終息のめどはいまだ立っていない。</p> <p>コロナ禍において打撃を受けた経済状況の中で、国から様々な経済対策が打ち出されている中、産業や教育の在り方にも様々な変革が求められる時代となっており、ICT産業の成長により注目が集まってきている。</p> <p>総務省の出している令和3年度版情報通信白書によると、情報通信産業の2019年名目国内生産額は108.4兆円であり、産業を、その他産業を除く8つの主な産業に分けた場合、全産業の10.4%を占め、商業及び不動産業を抜いてトップとなっている。</p> <p>また、日本とアメリカにおける上場企業の営業利益ランキングではテック企業（テクノロジーを用いたり、特にIT（情報技術）分野を専門として、開発または運営している企業のことをいう。）が日本において上位10社中4社を占めており、アメリカでは上位10社中8社を占め、情報通信産業が世界でも大きな産業となっている。</p> <p>そんな中、日本の情報通信産業における課題についてはICT人材の不足が指摘され、2018年では約22万人が不足しており、2030年では約45万人が不足すると見込まれている。さらに、企業のデジタルトランスフォーメーション化における課題についても半数以上の企業が人材不足を挙げている。</p> <p>ここ富士市では富士市デジタル変革宣言が発表され、この宣言の3つの柱として市民サービス、地域活性化、行政経営のデジタル変革を挙げ、取組をしている。このようなデジタル変革を行政の中だけにとどまらず、産業、教育など様々な分野にも波及させていくことが、富士市にも必要であると考ええる。</p> <p>さらに、社会状況や富士市の状況を踏まえ、ICT産業の育成・誘致と、今後の富士市を牽引する人材を育成するための情報教育に、他の自治体に先駆けて取り組むことが、富士市の10年先、20年先を見据えた大切な取組になると考え、以下質問する。</p> <p>富士市デジタル変革宣言をした中で、</p> <p>(1) ICT産業の育成・誘致の現状と今後の展望について伺う。</p> <p>(2) プログラミング教育を含む情報教育の現状と今後の展望について伺う。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
9	太田 康彦（29）	<p>1. G I G Aスクール構想 実現への取組と今後の課題について</p> <p>1人1台の端末環境と高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備を柱とするG I G Aスクール構想は、令和元年12月の令和元年度補正予算に盛り込まれました。</p> <p>このときの萩生田光一文部科学大臣のメッセージは「1人1台端末とクラウド活用、それらに必要な高速通信ネットワーク環境の実現を目指すものです。そして、この実現には、各自治体の首長の皆様のリーダーシップが不可欠です。この機を絶対に逃すことなく、学校・教育委員会のみならず、各自治体の首長、調達・財政・情報担当部局など関係者が一丸となって、子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に取り組んで頂きますよう、心よりお願い申し上げます。」とあります。</p> <p>G I G Aスクール構想の実現には自治体の首長のリーダーシップが最も大きな力となることを全国に呼びかけ、富士市の小長井市長はこの呼びかけに即座に応えたことは記憶に新しいところです。</p> <p>令和2年1月30日の補正予算案成立を受けて、直後の2月5日の市長の定例会見において、小長井市長は、国の示すロードマップに沿った整備計画である1人1台の端末整備と学校におけるICTの環境整備を進めていくことを表明しています。</p> <p>まさにスピード感をもった対応であったと言えます。</p> <p>この年の2月補正ではネットワーク整備と端末保管庫の設置が盛り込まれ、令和2年度9月補正では1人1台の端末整備が予算化され、12月末までに全中学校と一部小学校への導入、3月中には市内43校全ての整備を完了しています。</p> <p>端末の導入からネットワーク整備には大変な努力が学校現場のみならず、様々な場で重ねられてきたと存じます。</p> <p>タブレットの配備から1年がたとうとする現在、児童生徒の学び、また授業に臨む先生方、さらには家庭における変化等について、どのような取組が見られ、いかに変わってきたのかを以下、伺ってまいります。</p> <p>まず、児童生徒の授業の様子についてですが、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) タブレット端末に慣れるところから始まる児童や既にパソコン等に慣れている児童の違いはありましたか。 (2) 授業中、発言の少ない児童生徒の授業への参加意識等に変化が見られたでしょうか。 (3) 各教室には保管庫が整備されていますが、タブレット端末の持ち帰りの状況は現在どのようになっていますか。 <p>次に、教職員の変化について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (4) 児童生徒の理解度を把握する上でタブレット端末の導入効果は大きいと考えますが、いかがでしょうか。 (5) 授業の準備にはタブレット導入以前に比べ、より多くの 	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
9	太田 康彦（29）	<p>時間を必要とされるとの懸念についてはどうでしょうか。</p> <p>(6) 導入当初に比べ、先生方のスキルは飛躍的に上がっているとの評価がありますが、この点については具体的な事例がありますか。</p> <p>また、家庭における活用や管理の状況について伺います。</p> <p>(7) 家庭でのタブレット端末の活用状況と通信環境が整っていない家庭へのルーター貸出しは充足していますか。</p> <p>(8) 分散登校を行っていた時点では、オンラインによる配信等も行われていたようですが、効果について伺います。</p> <p>(9) 家庭との連絡では、ライデンスクール等が利用されているようですが、タブレット端末の利活用により家庭と学校の距離を埋めるような試みについての取組は行われていますか。</p> <p>デジタル教科書導入に向け、実証研究が進められています。</p> <p>(10) 教科書のデジタル化に期待する効果及び課題についてここまでの段階で、どのように捉えていますか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長